

令和 6 年度「第 10 回東日本連携・創生フォーラム」議事録

<日時／場所>

令和 6 年 10 月 30 日（水）14:00～16:00／清水園 3 階 飛龍

「1. 開会」

さいたま市／清水市長

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人でございます。「第 10 回東日本連携・創生フォーラム」の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、各自治体をはじめ関係機関の皆様方にはご多用の折、本フォーラムにご参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。今回も、昨年度に引き続き、オンラインを活用したハイブリッド形式での開催とさせていただきます、22 都市の皆様にご参加をいただいております。

また、6 都市の皆様には対面参加として本市にお越しをいただき、誠に嬉しい限りです。来年度は、コロナ禍以前のような対面形式の開催にしたいと考えておりますので、より多くの自治体の皆様に本市にお越しいただければと考えております。

さて、この「東日本連携・創生フォーラム」につきましては、平成 27 年 3 月の北陸新幹線延伸や平成 28 年 3 月の北海道新幹線開業を契機としまして、東日本の新幹線沿線自治体を中心に都市間連携による地方創生の推進及び地域経済の活性化を図ることを目的に、平成 27 年から開催しており、今回で 10 回目を数えることとなります。

当初は 17 都市でのスタートでしたが、現在は 30 都市まで連携の輪が拡大しております。各都市において、この広域連携の枠組みを地域課題解決の一つの手法として捉えていただいていることの現れではないかと感じております。この 10 年の間、各都市から様々な提案がなされ、議論し、皆様にご協力をいただきながら、各連携事業を進めてきたところでございます。東日本広域周遊ルートの策定や東日本連携センターの開設に加えて、「東日本でつなぐ SDGs 宣言」を行うなど、「環境」や「スポーツ」など多様な分野の連携事業も協議してまいりました。

この東日本連携を通じた出会いの中で、住民同士の交流も生まれております。例えば、本市は北海道新幹線開業を契機に、函館市様が毎年開催しております「函館グルメサーカス」に毎年出展をさせていただき、本市の伝統産業である「浦和のうなぎ」を PR する機会をいただいております。逆に函館市様には大宮駅前のまるまるひがしにほんを活用したシティプロモーションイベントを複数回開催いただいております。

その他にもみなかみ町様や福井市様とランニングイベントを通じて相互 PR を行う事例も生まれており、これらの相互 PR の機会は地域資源の PR だけでなく、住民同士が交流する大切な機会になっているものと感じております。

本年 3 月 16 日に北陸新幹線が敦賀まで延伸したことで、北陸地方と東日本、北日本地域との交流が進み、関係性が今まで以上に強まると考えております。これらの契機も十分に生かしながら、今後もこのフォーラムを新たな出会い、新たな対流を生み出す場、またこれまで築き上げてきた関係をさらに強固にしていく場にできればと考えております。各自治体の皆様、関係機関の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日は、東日本の自治体が一堂に会するせっかくの機会でございますので、議題に限らず広範な行政課題について意見交換させていただくことが、東日本地域全体の活性化、また地方創生につながると考えておりますので、皆様におかれましては、忌憚のない意見交換を重ねていただきますようお願いを申し上げ、甚だ簡単でございますが、私からの挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「2. 出席者挨拶」

岩手町／佐々木町長

岩手県岩手郡岩手町から参りました町長の佐々木でございます。岩手町は人口 1 万 1,000 人の小さな町ですが、農業を基盤とした産業基盤の中にスポーツが盛んで、そしてアートがある、そういう町でございます。2020 年には SDGs 未来都市に選ばれて、今まさに持続可能性を多角的にいろいろ探っている町でございます。お手元にチラシがありますが、まるまるひがしにほんでも岩手町マルシェを 11 月 1 日から 4 日まで開催させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

那須塩原市／渡辺市長

みんな会いたかったぞ。ありがとうございます。はるばるやってきました。はるばるといってもここから

40 分で来ました。新幹線駅、那須塩原駅のおかげで今うちも移住者増えています。もっともっと皆さんと交流を深めたい。ありがとうございました。

函館市／氣田部長

皆さん、こんにちは。函館市経済部長の氣田でございます。昨年は大泉市長と一緒に参加させていただきました。今年は市長は公務の関係で出席叶いませんでしたけれども、私の方で昨年に引き続き皆さんにお会いできることを楽しみに参りました。

函館市は、先日発表されました市区町村魅力度ランキングにおきまして、5 年ぶりに 1 位となりました。通算 7 度目の日本一でございます。多くの方々に函館を訪れていただいておりますし、また、たくさんの方に評価していただいて、大変喜ばしく思っております。今年の 4 月には、さいたま市の清水市長をはじめ経済団体の方々と一緒に函館を訪れていただきましたし、7 月には会津若松市の室井市長が市民の皆様とともに函館を訪れていただき、交流を深めたところでございます。

函館市としましては、何度でも函館に来ていただけるよう、更なる魅力の向上に向けて、本日の「東日本連携・創生フォーラム」をはじめ、様々な交流を含めて継続的に取り組みながら、皆様との連携をさらに深めてまいりたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

郡山市／吉成課長補佐

郡山市総合交通政策課の吉成と申します。郡山市は今年の 9 月 1 日に市制施行 100 周年となりました。1 月から様々な記念事業を実施しておりまして、10 月 27 日には楽都郡山メモリアルパレードといたしまして、東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが行われました。今後、記念式典、音楽祭など様々な記念イベントを実施いたします。詳しくは市制施行 100 周年記念ポータルサイトがございますので、ご一読いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

新潟市／関川部長

新潟市観光・国際交流部の関川でございます。本来であれば市長の参加を予定していたところでございますが、本日は私が代理として出席をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

本市では、60 年ぶりとなります JR 新潟駅のリニューアルに合わせて、駅周辺整備を現在進めているところでございます。今年 3 月には新たなバスターミナルを開業したほか、観光案内センターもリニューアルをさせていただいたところでございます。また、今年 7 月には、佐渡の金山が世界文化遺産に登録され、佐渡の玄関口の一つでもある本市にとっても、国内外からの多くの観光客が来訪されることが期待されております。現在、本市では新潟駅から佐渡汽船までの区間を中心としまして、外国人向け多言語案内表示の整備・検討を進めているほか、更なる拠点性の向上と交流人口の拡大を現在図っているところでございます。

この世界遺産登録は、本市のみならず、東日本地域での交流人口の拡大、地域活性化につなげていければと考えております。今後とも、皆様との交流、連携を深めながら、東日本連携事業に取り組んでまいりたいと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

小樽市／迫市長

皆さん、こんにちは。北海道小樽市の迫と申します。日頃からさいたま市の清水市長はじめ皆様におかれましては、様々な連携交流事業の推進にご尽力をいただいておりますことを心から感謝を申し上げます。

私ども小樽市には、北海道新幹線の新駅ができることになっておりますけれども、この北海道新幹線の札幌への延伸開業を見据えますと、特に東北地方、関東地方は交通戦略上、大変重要な地域と認識をいたしております。今後、皆様と連携を深めながら、交流人口の拡大、あるいは地域活性化に向けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会津若松市／室井市長

会津若松市長の室井照平でございます。今回は冒頭のみ参加となります。何卒ご容赦いただきたいと思います。

日頃より、さいたま市様をはじめ、構成自治体の皆様には大変お世話になっております。心より御礼を申し上げます。今回で会津若松市 7 回目の参加でございますけれども、今回は議題の提案もさせていただきたいと思っております。今後の東日本地域の発展に寄与して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

小松市／宮橋市長

こんにちは、石川県小松市長の宮橋勝栄でございます。まずは冒頭ですけれども、今年の 1 月 1 日に発生し

ました能登半島地震に対して、全国から多くの皆様のご支援を今もいただいております。まずは県民の一人として、皆様に心から感謝申し上げたいと思っております。本当にありがとうございます。

また一方で、今年 3 月 16 日には、悲願でありました北陸新幹線敦賀延伸に伴いまして、我々の市にも小松駅が開業いたしました。能登半島地震からの復旧復興に向けてもそうですし、やはりこれから我々の地域も発展していくためには、東日本の皆様との連携は欠かすことができないと考えております。

去年から参加させていただいておりますけども、今後また皆様と連携をさせていただきながら取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市交流推進部観光課の藤谷でございます。本日は市長の代理ということで出席させていただいております。

10 月末にもなりまして、盛岡市におかれましては、早くも白鳥が飛来をしております。また、中心部にあります盛岡城跡公園では、ちょうど紅葉が今から見頃という状況になっております。

外国人観光客につきましては、令和元年過去最高だったわけですが、令和 5 年におきましても、これまでを上回る過去最高のペースで増えているという状況でございます。今後におきましても、海外プロモーションを含めて外国人観光客の誘客に力を入れてまいりたいというふうに思っているところでございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

山形市／澤村室長

山形市インバウンド推進室長の澤村と申します。山形市につきましては、今年度 4 月からインバウンド推進室ということで、観光から切り離して、独立してインバウンドをやりなさいというようなことで新たな室が誕生したわけですが、このような広域連携はインバウンドにおいては非常にメリットが大きいということで、4 月に引き継ぎを受けて以来、インバウンド推進室の方で担当をさせていただいております。本日も市長は公務がございまして、本来であれば副市長、部長が代理出席なんだろうけれども、まさに昨日からタイに二人ともインバウンドの関係で行っておりまして、今日は私が代理出席とさせていただいている次第でございます。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

福島市／小松室長

皆さん、こんにちは。福島市観光交流推進室小松です。本日はお世話になります。7 月の YouTube 企画では本市のわらじまつりを、8 月のまるまるひがしにほんでは桃を中心に福島の商品の PR で大変お世話になりました。

本市の今の状況といたしましては、来年のプレ DC、令和 8 年の DC に向けた予算などの準備を行っているところです。

あと、ちょっとプチネタといたしまして、「AIR RACE X」という小型飛行機の国際レースで、福島市を拠点に活躍している室屋義秀選手が優勝したという嬉しい出来事があったということで、福島市の紹介をさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

小山市／江田課長

皆様こんにちは。栃木県小山市の商業観光課長の江田と申します。

小山市も市制 70 周年を迎えまして、先週式典を行ったところです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

みなかみ町／茂木副町長

皆さん、こんにちは。群馬県みなかみ町副町長の茂木と申します。本日はオンラインから失礼をいたします。関係自治体の皆様には、日頃より大変お世話様になっております。

みなかみ町は群馬県の最北端に位置してございまして、利根川源流の町であります。首都圏の水がめとして、利根川流域 3,000 万人の生活を支える使命感と責任を持って、自然環境の保護やネイチャーポジティブ、生物多様性の保全活動などを推進してございます。

谷川岳に代表されるような国内第一級の山岳地、また、町内各地に湧き出る温泉など、豊かな自然環境とこれを活かした観光資源を有しており、これまでの観光のあり方、地方創生の推進について皆様方と連携をさせていただき、また、一緒に悩みながら取り組みを進めてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

三条市／加藤室長

皆様こんにちは、三条市営業戦略室の加藤と申します。本日は市長が他の公務のため代理出席させていただいております。よろしくお願いいたします。

三条市では、福島県只見町を結ぶ国道 289 号線、通称 82 号道路が約 2 年後に開通するという予定になっております。この道路は建設から 40 年以上かかって進めているものでございまして、この道路が開通しますと、福島県や太平洋側の地域の多くの方々がこの道路を通して三条市、新潟県側にいらっしゃることが期待されておりますことから、当市では開通に向けた準備を今から進めているところでございます。新幹線とこの新しい道路が相乗効果を生み出すように、皆様と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

魚沼市／櫻井副市長

皆さん、こんにちは。人と四季が輝く雪の国魚沼市副市長の櫻井雅人と申します。よろしくお願いいたします。

魚沼市は新潟県の南東部に位置してございます。冬は 2m 以上の積雪がある日本有数の豪雪世界であります。魚沼産コシヒカリに代表される豊富な食や自然に囲まれ、魚沼の名称は国内でも高い認知度がござい

ます。
今年度、市制施行 20 周年に合わせて、市内の「小出 IC」を魚沼の冠を付した「魚沼 IC」に改称することで準備を進めているところでございます。そして、20 周年と「魚沼 IC」の改称を契機として、多くの皆様からおいていただけるよう、誘客のための企画を実施しております。

11 月 1 日には記念式典を実施する予定でございます。また、福島県の会津若松市と魚沼市を結んでいる JR 只見線は、紅葉の美しい鉄道路線ベストテンで第 1 位、海外でも世界で最もロマンチックな鉄道として取り上げられるなど、国内外での景観美が高く評価されているローカル線でございます。

JR 只見線をはじめとする地方ローカル路線は、東日本連携全体の周遊観光の促進や交流人口の拡大に大きく寄与するものと考えており、当市といたしましても、JR 只見線を活用した観光誘客や地域振興に取り組んでまいりたいと考えてございます。引き続き、「東日本連携・創生フォーラム」の皆様方との連携を深めつつ、地域の発展につなげてまいりたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

南魚沼市／西潟課長

皆さんこんにちは、米どころ新潟県南魚沼市です。市長は海外公務のため、私、産業振興部商工観光課長の西潟が出席しております。

さて、本年南魚沼市は市制施行 20 周年を迎えますが、先週 26 日の土曜日には、うっすらと紅葉の始まった八海山の下、八色の森公園で「ずっと！もっと！南魚沼」を合言葉に、南魚沼の誇るコシヒカリのおにぎりと素敵な音楽イベント「おにぎり&ミュージックフェス」を開催いたしました。

引き続き、皆様と共に東日本連携に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

氷見市／釜田部長

富山県氷見市産業振興部長の釜田でございます。よろしくお願いいたします。

氷見市は石川県に隣接しておりまして、能登半島の付け根にございます。この関係で能登半島地震の影響を受けたところでございますけれども、この能登半島地震からの復興支援ということで、この秋から冬にかけて、氷見市にお得に宿泊ができる「氷見応援割キャンペーン」というものを独自で実施いたします。

後ほどの情報共有や、11 月 26 日のつなぐ旅の YouTube 配信でもご紹介をいたしますけれども、本日のご参加の皆様におかれましても、ぜひ氷見市にお泊まりいただき、寒ブリをはじめとしたグルメや温泉をお楽しみいただければと思います。本日もどうぞどうかよろしくお願いいたします。

南砺市／吉田次長

富山県南砺市でございます。日頃より「東日本連携・創生フォーラム」の皆様方には大変お世話になっております。本日は市長が出席するところ、代理で私吉田が出席させていただいております。よろしくお願いいたします。

南砺市は今年誕生 20 周年を迎えまして、この節目にあたり、地域の今を見つめ直し、また、市民が住みやすい、次世代が住みやすい南砺市を未来をつなぐ取り組みを、改めて今年からまた始めようと職員一丸となって取り組んでおります。

また、市としても、来年開催されます大阪・関西万博に向けまして、実は小松市さんと伝統工芸等を連携させていただいて出展を予定しております。その上で、また東日本連携・創生フォーラムの皆様方もご出展をされているというふう聞いておりますので、またいろいろと情報交換を今後させていただければなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は皆様の報告や情報共有を参考にさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

たします。

長野市／川上部長

お世話になっております。長野市の経済産業振興部の川上でございます。市長はオリンピック金メダリストの荻原健司でございまして、本日、公務で出席できませんので、私の方で代理をさせていただきます。

長野市は北陸新幹線の停車駅でございまして、人口約 36 万 3000 人、県庁所在地でございます。市の面積の 7 割が中山間地でございまして、本市は都市と自然の調和を生かしたまちづくりを目指しているところでございます。長野市の中山間地を中心に、そろそろ紅葉が見頃を迎えているということにございます。また、来月 11 月 3 日には、この時期としては大変珍しい「長野えびす講煙火大会」がございまして、冬の澄んだ空気の中で大きな花火が浮き上がるということで、ぜひお越しいただければと思っています。

本日皆様とともに地域振興に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

上田市／小林部長

上田市文化スポーツ観光部長の小林です。あいにく市長が他の公務と重なりまして出席が叶いませんでしたので、代理で出席させていただきます。

私どもの上田市は北陸新幹線沿線の周囲を美しい山々に囲まれた自然豊かなまちでございまして、戦国武将、真田幸村に代表される真田氏ゆかりの地で知られているところでございます。今は秋の観光シーズンを迎え、紅葉狩りや温泉、また秋の味覚の代表でありますマツタケやリンゴなどを求めるお客様で賑わいを見せているところでございます。東日本連携に参加されている皆様とは、今後も様々な形で連携を図り、地域の活性化に向け取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

福井市／堀課長

福井市の広報プロモーション課の堀と申します。

今年の 3 月 16 日に、本市待望の北陸新幹線が福井まで延伸いたしました。半年経過いたしました。現在も福井には県内外から多くの方にお越しいただいております。また、石川県さん、富山県さん、そして福井県の北陸 3 県では北陸ディステーションキャンペーンが開催中でございます。

さらには、来月 6 日には冬の味覚越前ガニの漁が解禁されるなど、さらに多くの方にお越しいただけるシーズンを迎えます。最も福井を堪能できる時期でありますので、福井新幹線開業によりまして、ますます皆様と近くになりましたので、ぜひ福井にお越しいただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「3. 議題」

議題(1)「つなぐ旅～東日本～」Instagram について（さいたま市）

さいたま市／清水市長

はじめに、議題(1)『「つなぐ旅～東日本～」Instagram について』、私から説明をさせていただきます。

「つなぐ旅～東日本～」の Instagram は、各都市のオススメスポットやイベント情報、特産品等の紹介をしているもので、7 月に各都市からアカウント作成のご承認をいただき、7 月 12 日から運用を開始いたしました。

10 月 21 日時点で投稿数は 56 回、フォロワー数は 201 人でございます。各都市や観光協会のアカウントをフォローさせていただいておりますので、ぜひ相互フォローのご協力をお願い申し上げます。実施要領は記載のとおりで、各都市の皆様には、事前に共有したスケジュールに沿って投稿原稿を本市までご送付をいただければと存じます。イベント情報などを指定された投稿日以外にも投稿は可能ですので、ぜひご連絡をいただければと思います。以前、Instagram の施策案について各都市に照会をさせていただきましたところ、アカウントフォロー&ハッシュタグ投稿キャンペーンなどのご意見を頂戴しました。これらを参考にさせていただき、9 月 1 日から「東日本おすすめラーメン投稿キャンペーン」を実施しております。内容としては、アカウントフォローとタグ付けをしていただき、指定のハッシュタグを付けて東日本連携都市のラーメンを投稿いただくと、抽選で 30 名様に東日本地域のラーメンセットが当たることになっています。

明日が締切でございますので、ぜひ皆様からのご投稿をお待ちしております。

今後の取組みとして、来年の春の開花時期に桜をテーマとしたフォトコンテストの実施を提案したいと思います。このコンテストは、連携都市は東日本地域が広域に位置しており、桜の開花時期がそれぞれ異なっていますので、東日本地域の周遊を促進することを目的に実施をするというものでございます。内容としましては、アカウントフォローとタグ付けをしていただき、指定したハッシュタグを用いて連携都市の桜の写

真をご投稿いただきます。そして、それらの写真を連携都市間で審査をして、入賞した方にご当地品をプレゼントすることを想定しております。

後日、各都市の皆様には商品のご提供について照会をさせていただきますので、積極的なご協力をお願い申し上げます。また、実施の際は、各都市連名での記者発表や SNS の発信など、周知の協力も併せてお願いができればと思っております。説明は以上でございます。

この議題につきまして、ご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、みなかみ町の茂木副町長、お願いします。

みなかみ町／茂木副町長

ご説明ありがとうございました。Instagram の活用ですけども、誘客に際して効果的というよりは、むしろ不可欠なツールであると考えております。特に資料をご説明いただきましたような、各都市で設定をしやすい共通のテーマや、ストーリー性のあるテーマを設定すること、縦串を入れることで、この周遊のきっかけですとか動機づけになってくるものと思います。

各地域が連携をすることで、単独ではリーチをしにくい層への訴求や、共通のターゲット層への効果的、効率的なアプローチに資する可能性があると考えております。ただし、それはあくまでもコンテンツ次第だというふうに考えております。

SNS というのは、効果測定がなかなか困難な面もあると考えます。連携することによっての効果というのを数値化することがなかなか困難な中で、相当程度の労力をかけながら継続的な投稿、ユーザーの方に刺さるコンテンツづくりに尽力していく必要があると考えています。当町としましても、極力できる限り協力をさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。続きまして、新潟市の関川部長、お願いします。

新潟市／関川部長

まず、さいたま市様が中心となりまして、アカウントの開設にご尽力いただきましたことを感謝申し上げます。今ほどお話もありましたとおり、SNS による情報発信というのはもう現段階では不可欠になってきており、非常に効果的であるということで、皆様も活用されていることと思います。

今後、フォロワー数、フォロワーの獲得などが課題になってくるかと思いますが、取組み案にありますフォトコンテスト、また皆様一体となってフォロワーを獲得しながら本市も積極的に活用させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。その他、発言等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

今いろいろご意見を頂戴しましたけれども、ストーリー性をしっかり持たせていく、コンテンツの中身が非常に重要だというようなご指摘もいただいたところでもございますし、まだフォロワー数が非常に少ない状況がありますので、さいたま市も含めて、参加自治体の皆さんにもご協力をいただきながら、さらにこの Instagram のフォロワー数の向上にぜひともお力添えをいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本件につきましては、『東日本地域の周遊促進のために、共同 Instagram アカウント「つなぐ旅～東日本～」を活用して、令和 7 年春頃に「桜をテーマとしたフォトコンテスト」を開催する』ということという方針で事業を進めさせていただければと思いますが、皆様いかがでしょうか。賛成の方の一応挙手をお願いしたいと思います。（賛成多数）

ありがとうございます。それでは、議題(1)については、先ほどのとおり取りまとめをさせていただければと思います。

議題(2) 新幹線荷物輸送サービスを活用したシティプロモーションについて(さいたま市)

さいたま市／清水市長

それでは、議題(2)「新幹線荷物輸送サービスを活用したシティプロモーションについて」、私からご説明をさせていただきます。

はじめに、新幹線荷物輸送サービスの概要についてご説明いたします。新幹線荷物輸送サービスは、鉄道会社が運行する新幹線等を活用しまして、荷物をスピーディかつ安全に輸送する次世代配送サービスでございます。代表的なサービスとして、株式会社ジェイアール東日本物流様のサービスは「はこビュン」が挙げられます。

このサービスについては、スピーディに輸送できる速達性の実現、高度な輸送品質による安全な荷物の輸送、各地に伸びる鉄道ネットワークの活用という 3 つの特徴がございます。活用するメリットとしては、鉄道ならではの定時・安定輸送、低振動での荷物輸送、自動車よりも CO2 排出量が少ない、環境に配慮した輸送方法であるという 3 つの点がメリットとして挙げられます。

これまでの活用実績としましては、本市が運営しておりますまるまるひがしにほんにおきまして、この「はこビュン」を活用して、新鮮な特産品、賞味期限の短い商品等を輸送販売しながら、シティプロモーションが行われた事例がございます。例えば、函館市様が令和 3 年度に開催した「函館物産展」では、朝どれの新鮮な魚・貝のお刺身を新幹線で輸送していただき、販売を行いながらプロモーションを実施していただきました。また、自主企画として新潟県のイベントを開催した際には、新潟市内で大人気の老舗和菓子店「さわ山」様の薄皮大福を輸送・販売をさせていただき、輸送した 50 パックが 10 分で完売するという人気ぶりでした。

そこで今回本市が提案したい事業は、この新幹線荷物輸送を活用して、鉄道事業者と連携しながら、大宮駅でシティプロモーション、物産イベントを実施するというものでございます。大宮駅西口イベントスペース等で、東日本各都市のシティプロモーション、物産イベントを開催して、その中で各都市の特産品などを新幹線で輸送し、販売するという企画になります。

イベントの開催時期は、現在の想定としましては、令和 7 年秋頃の週末 3 日から 4 日程度と考えておりますが、最終的には参加都市の意向も踏まえながら、JR 東日本様と協議して決定をしていきたいと考えております。イベントのイメージについてはご覧のとおりですが、参加都市の皆さんに観光 PR、シティプロモーションや物産販売を行っていただくブースを設けまして、新幹線で輸送する特産品が届き次第、目玉商品として随時販売するというものでございます。

本提案事業の特徴について 4 点挙げてございます。何より一番の特徴は、この事業は JR 東日本グループからの全面的なバックアップのもとに実施をするということでございます。本来は「はこビュン」を利用できない新幹線の途中駅または新幹線駅がない自治体様でも相談の上、対応可能な条件について提案をいただけることになっております。また、イベントの企画や周知にも多大にご協力をいただいて事業を実施することになっております。大宮駅西口イベントスペースは大変集客力の高い場所でもございますので、物販だけでなく観光 PR などをして、シティプロモーションの効果も十分に期待できると考えています。

先日、各都市に本事業への参加意向を照会をさせていただいたところ、函館市様、青森市様、岩手町様、山形市様、福島市様、会津若松市様、小山市様、新潟市様、魚沼市様、長野市様、福井市様の計 11 自治体に現時点で参加の意向をいただきました。

今後につきましては、本フォーラムでの同意をいただいた後、JR 様を交えながら条件の整理と詳細な調整を行って、令和 7 年度秋頃の実施を目指して、輸送の詳細あるいはイベントの準備を進めていきたいと考えております。また、まるまるひがしにほんでシティプロモーションを行う都市におかれましては、新幹線の荷物輸送について、まるまるひがしにほんで調整の上、このイベントに限らず随時実施ができればと考えております。施設活用には是非ご検討いただきたいという風に考えております。

最後に、新幹線荷物輸送の活用については、今後の各都市がシティプロモーションを実施する際の有効な PR ツールの一つになると考えております。まずは、この連携事業の枠組みの中で、ぜひ一度、試験的に実施をしてみたいと思います。よろしくお願いいたします。説明は以上となります。

ここでご意見等を伺う前に、今回、せっかくの機会でございますので、この新幹線荷物輸送サービスを体感していただくため、本日会場にお越しをいただいた方には、先ほどの説明の中に登場しました新潟市内の老舗和菓子店「さわ山」様の薄皮大福をご用意させていただきましたのでどうぞご賞味いただきたいと思います。こちらの大福は新潟市外からも買いに訪れる方も多くいるほど人気のようでして、賞味期限が当日ということで、今回新幹線で運んでいただきました。私もいただけてみたいと思っておりますが、会場の皆さんもぜひお召し上がりをお願いいたします。

これ、非常に美味しいですね。ちょっと塩も効いているんですね、甘みがちょっと抑えられていて、非常に食べやすい美味しい大福になっていますけど、新潟市の関川部長、この大福について何か補足等の説明はありますでしょうか。

新潟市／関川部長

まずもって、新潟市の大福を選んでいただいて誠にありがとうございます。さわ山さんは大正初期に創業された市内にある和菓子屋さんでございまして、この薄皮大福は看板商品であります。お配りになられた方、もしも手がきれいであれば、まず触っていただいたら、本当に柔らかさが実感いただけると思うんですけれども、これが時間が経つと非常に硬くなるということから、これまで県外での販売というのが非常に難しい状況でございました。

ただ、輸送時間の短い新幹線輸送ということで、このように資料にもございましたけれども、大宮駅前で

まるまるひがしにほんで販売いただけるというような状況になってございます。この新幹線輸送は生ものですとか賞味期限の短いものにメリットがあると思っております、食をはじめ、様々なものに活用できるのではないかと期待をしているところでございます。

先ほど甘くないということでございましたが、砂糖も控えめで甘いものが苦手な方でも、何か情報によると、お客さんから自宅のあんこはちょっと砂糖の分量を間違えていませんかと言われることもあるというふうに伺っております、開店前から日によっては行列を作ったりというところでもございますので、ぜひご賞味いただければと思います。ありがとうございました。

さいたま市／清水市長

関川部長、ありがとうございました。ついに完食してしまいました。

この議題につきまして、何かご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは会津若松市の白岩部長、お願いします。

会津若松市／白岩部長

会津若松市の白岩でございます。本日はよろしくお願いいたします。

本市におきましても、地域外での特産品の取引拡大に向けた様々な取り組みを行っておりますが、課題の一つに地域内事業者の物流及び商流手段の確保が課題となっております。こうした課題を解消する上で、新幹線輸送の活用は以前から注目をしていたところでございます。今回のように、JR様からのご支援をいただきながら、実証的に新幹線輸送を活用することに加え、集客・発信力の高いJR大宮駅を活用したシティプロモーションの実施ができるという機会は、新幹線通過駅がない当会津若松市におきましても有意義な機会と考えてございます。

本市といたしましても、参加について検討してまいりたいと考えてございます。以上でございます。

さいたま市／清水市長

はい。ありがとうございます。その他ご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。よろしいですか。

本件につきましては、今回JR東日本様の大変なご協力もありますので、本件について、「鉄道事業者と連携しながら、新幹線や荷物輸送サービスを活用した特産品をPR・販売するシティプロモーションイベントを令和7年秋頃に大宮駅構内で開催することとする」という方針で事業を進めさせていただきたいと思いますが、皆さん、よろしいでしょうか。（賛成多数）

ありがとうございます。それでは議題(2)はこのように取りまとめさせていただきたいと思います。

また、本日は東日本旅客鉄道株式会社の石井大宮支社長にもお越しをいただいております。もしよろしければ、最後に一言いただいてもよろしいでしょうか。

東日本旅客鉄道株式会社／石井大宮支社長

はい。コメントの機会をいただきまして大変恐縮です。ご紹介いただきました東日本旅客鉄道株式会社大宮支社の石井と申します。

日頃からご参加の皆様には当社グループが大変お世話になっております。この場を借りて御礼申し上げたいと思います。新幹線荷物輸送サービスをこのように取り上げていただいて、またご活用いただきまして誠にありがとうございます。このサービスですね、ちょっと前まで現地にあったものが今ここで味わえると、資料にも書いていただきましたとおり、現地で味わう状態と近い状態で、特産品を味わっていただけるというところが特徴でございます。

さらには、大宮は交通の結節点と言われている立地でありますので、様々な地域の旬の美味しい食材を現地で味わうのと同じように、この大宮で味わっていただくことで、その地域の食のことをよりよく知ってもらうと、そのことをフックに東日本地域の人、あるいは情報の交流というものがますます活性化されればと私どもも思っております。新幹線荷物輸送サービスもまだ実証というような段階でございますけれども、私たちもお役に立てるような取り組みを様々な行ってまいりますので、皆様からもご支援をいただければと思います。

薄皮大福、大変美味しゅうございました。どうもありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

石井支社長、ありがとうございました。ぜひ引き続きご協力をお願いしたいと思います。

ちなみに大宮駅はJR東日本管内の中で7番目に乗降客数が多い駅でもございますので、ぜひ有効に活用し

ていただければありがたいと思っております。

議題(3) 東日本連携・創生フォーラム 10 周年記念事業について（会津若松市・さいたま市提案）

さいたま市／清水市長

続きまして議題(3)「東日本連携・創生フォーラム 10 周年記念事業について」、会津若松市とさいたま市の共同提案ということでさせていただきたいと思えます。はじめに、会津若松市の白岩部長からご説明をお願いしたいと思います。

会津若松市／白岩部長

ご説明いたします。本市は平成 30 年にさいたま市様と地域連携協定を締結したことを契機としまして、このフォーラムに加入させていただきました。東日本地域の主要な自治体が連携し、一緒に様々な取り組みを行う中で、大きな可能性を実感しております。来年がフォーラム 10 周年を迎えるということで、今後の発展に期待する一方、昨今の新型コロナウイルス感染症等の影響に伴いまして、近年は自治体間の交流が減少しているということも懸念しているところでございます。こうしたことから、今後もこのフォーラムを期待する自治体の立場から、節目となる 10 周年に改めて自治体間の交流促進を図るためのイベント等の開催を提案させていただいたところでございます。よろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。それでは、続いて、私の方からも説明させていただきたいと思えます。

会津若松様からのご提案を踏まえ、7 月末に各都市に照会をさせていただいたところ、テーマや内容は様々ですが、「物産」を開催してはどうかという意見が多くございました。これを踏まえまして、まずは各都市が参加できるようなテーマや内容の物産を開催することとさせていただきたいと考えております。

事業の概要ですが、今回の記念事業については、大宮駅前のまるまるひがしにほんを活用し、「(仮称)東日本マルシェ」として東日本地域の特産品や観光を PR する事業を実施をしたいと考えております。実施時期は、令和 7 年の 4 月から 7 月の 4 か月の間、毎月 1 週間程度の計 4 回の開催を予定したいと考えております。毎月参加都市を 4～8 都市を募りまして、各都市の特産品や観光の PR を実施いただきますが、出展都市が決定しましたら、その都市間で共通のテーマやコンテンツ、強みを生かして各都市を PR する小規模な催しを盛り込んで開催できればと思っております。例えば、イチゴを特産とする土地が複数あれば、食べ比べ企画をしても面白いと思えますし、また各都市で日本一や県内一の生産量、また消費量を誇る特産品があれば、そういったものを集めて PR することなども効果的な PR 企画としてはあり得るのではないかと考えております。大まかなスケジュールについてはご覧いただいているとおりですが、一つでも多くの都市の皆様に参加をいただいて、このフォーラム宣言から 10 周年の年を盛り上げていきたいと考えておりますので、ぜひ積極的な参加を待ちたいと思っております。説明は以上でございます。

この議題につきまして発言がありましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、那須塩原市の渡辺市長、お願いします。

那須塩原市／渡辺市長

新潟市さん、ありがとう。おいしかったです。すみません。いつもこういうキャラなので気にしないでください。頭おかしくなったわけではないので。もともとこういう声なんでね。うちもぜひこの 10 周年参加させていただきたいなと思っていて、うちは生乳の産出額が全国 2 位で、うち以外みんな北海道の市町村なんですけど、本州はうちだけなんですけど、あとチーズもワールドチーズアワードもベストテンに入っている結構おいしいチーズもあるので、乳製品とかですね、せっかくなので鮮度の高いものを持っていきたいなと思っております。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。その他ご発言等ありましたら挙手をお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、本議題については『平成 27 年の「東日本連携・創生フォーラム宣言」から 10 周年を迎えることを記念して、令和 7 年春頃にまるまるひがしにほんにおいて東日本各都市が特産品や観光の PR を行う「(仮称)東日本マルシェ」を開催することとする』という方針で事業を進めさせていただきたいと思えます。皆様いかがでしょうか。(賛成多数)

ありがとうございます。それでは議題(3)についてはそのとおり取りまとめをさせていただきたいと思えます。

本日予定されておりました議題を全て終了いたしました。それではここで 10 分間の休憩をとりたいと思えます。再開は、3 時 5 分ということにさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

(休憩)

「4. 報告事項」

報告事項(1) 東日本連携協議会について

さいたま市／清水市長

続きまして、次第 4「報告事項」に移らせていただきます。報告事項につきましては、昨年度のフォーラム以降に行った連携事業の実施状況について、各都市よりご報告いただきます。

はじめに、報告事項(1)「東日本連携推進協議会」について、代表幹事の株式会社高島屋大宮店店長桜庭様からご報告をお願いしたいと思います。

東日本連携推進協議会／桜庭代表幹事

それでは、報告事項(1)「東日本連携推進協議会について」ご説明いたします。

はじめに、東日本連携推進協議会についてご紹介をさせていただきます。我々は、大宮駅周辺の大規模商業施設など 8 社が連携し、東日本連携を民間主体で推進する組織で、2016 年の発足以降、今年で 9 年目を迎えます。東日本地域との連携交流を促進することで、大宮のまちのにぎわい創出と東日本地域の振興を目的に活動しております。令和 5 年度につきましては、協議会、企業が共同で実施するプロモーション事業、東日本に関連した催事を開催いたしましたので、本日はその活動を報告させていただきます。

まず、共同プロモーション事業としまして、謎解きをしながら大宮駅周辺のまちを歩き、楽しんでもらう「大宮からの挑戦状」を開催しており、昨年で 6 回目の開催となりました。北陸新幹線福井延伸を 4 か月前に控えていた恐竜王国福井県様にご協力いただき、恐竜をメインに据えたイベントを実施いたしました。謎解きをクリアした方には、抽選で福井県の恐竜グッズをプレゼントし、参加賞として恐竜シールを配布いたしました。事前に市内小学校等に告知をしていることもあり、小学生とご家族を中心とした延べ 5,766 人にご参加いただき、大変盛況のイベントとなりました。

次に、東日本に関連した催事「つながろう東日本応援フェア」についてご紹介いたします。東日本応援フェアでは、謎解きイベントの期間に合わせ、協議会各店舗が東日本地域にちなんだ催事を開催しております。

大宮高島屋では「東日本グルメフェア」を開催。東日本各地から集めた旬の食材や地域を代表するグルメを店頭でご紹介し、東日本の食を楽しんでいただくことで、旅した気分を来店者に味わってもらうことができました。そごう大宮店では、東北 6 県の特産品を中心にした物産展「東日本アンテナショップ祭り」を開催。先ほどの大宮からの挑戦状のつながりで、「ふくい食の国 291」にもご出店いただき、大変好評でした。パレスホテル大宮では、ホテル内の各レストランにおいて、福井県の名物や食材を使用した料理を提供する「福井フェア」を開催し、2 か月間にわたり福井県の豊富な食材や食文化をアピールいたしました。大宮駅西口の駅前ビルの「大宮アルシェ」では、新幹線ホームからも見える大型エキサイトビジョンを活用し、大宮からの挑戦状や福井県の観光 PR を大々的に実施いたしました。ハンズ大宮店では、恐竜と絡め「化石鉱物フェア」を開催。福井県様の所有する恐竜博士ベンチを設置するとフォトスポットとして活用され、多くの方が写真に収めました。大宮マルイでは、SDGs をテーマとした普及啓発イベントを開催し、東日本連携都市を中心とした SDGs 未来都市の取り組みを紹介するパネル展示を行いました。

最後になりますが、今年度の取り組みとして、昨年度と同様、11 月 1 日から 11 月 30 日までの 1 か月間、先ほど紹介した謎解きイベント「大宮からの挑戦状」第 7 弾と、それと連動する形で各店舗で東日本をテーマにした「つながろう東日本応援フェア」を開催いたします。今年度も昨年度大好評だった福井の恐竜をテーマに開催いたしますが、今後もこのような取り組みを通じて、東日本地域の皆様とのネットワークをより強固なものとし、東日本地域との連携交流を促進してまいりたいと考えております。引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件につきまして、何かご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

大宮駅周辺にあります大規模商業施設の皆さんが連携して東日本全体を盛り上げようということで、様々な取り組みをいただいているところでございますので、それぞれの自治体のこんなネタをやってほしいなどありましたら、是非ご提案いただければと思います。また、今年も福井、恐竜をテーマとしたイベントが開催されるということでございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

報告事項(2) 広報紙連携について(福井市)

さいたま市／清水市長

次に、報告事項(2)「広報紙連携について」、福井市の堀課長からのご報告をお願いします。

福井市／堀課長

福井市からは、まず広報紙での連携について報告をさせていただきます。

この事業は、北陸新幹線福井開業による新幹線ネットワーク拡充をきっかけに、高まる旅行ニーズを新幹線沿線に誘導するため、東日本の自治体と連携して観光情報等をお互いの広報紙面に掲載するものでございます。令和6年度からは、参加都市の情報を掲載したデジタル冊子を制作し、そのQRコードを各都市の広報紙に任意の時期に掲載する形を予定しております。各都市の費用負担についてはなく、テンプレートに掲載した写真や記事を入稿するのみとなっております。来月にはデザインの確認や掲載情報の提供を依頼させていただきます、今年度中の発刊を予定しております。参加自治体の皆様にはご協力をお願いいたします。昨年以上の多くの自治体から参加希望をいただいております、連携の効果をさらに高めていきたいと考えております。今からでも参加可能ですので、希望される場合はぜひご連絡いただければと存じます。報告は以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件につきまして何かご発言等ございましたら挙手お願いしたいと思います。それでは、みなかみ町の茂木副町長、お願いします。

みなかみ町／茂木副町長

群馬県みなかみ町でございます。各都市間の連携として、特にデジタルでのコンテンツ連携については歓迎をしています。また、説明にもございましたとおり、各都市の費用負担がない、また、事務手間もかなり少ないというのも非常に参加しやすいようになっているのかなと考えています。当町でも保有する媒体を活用しまして、積極的に周知を図っていきたくと考えています。ただ、立ち上げの際は一定程度アトラクティブなものになると思いますけれども、ユーザーの利用頻度の維持増加というのがいずれ課題になってくると思いますので、コンテンツの充実であったり、参加自治体の増加はもとより、ターゲット層にリーチをするようなデザイン、統一感のあるデザインの作成にご配慮いただければ幸いです。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。今後、やはりデザインであるとか、あとターゲット層に対してどうきちっとアプローチができるかということも一つ十分考慮に入れながらというようなご意見もいただきまして、ありがとうございます。各都市の広報紙につきましては、住民向けの情報が優先となるというのが現状かと思っておりますけれども、現在QRコードの相互掲載を検討されているところとのことです。これであれば参加できるというところもかなりあるのではないかと思います。本市にも広報紙にいろんなところが載せてくれということで、市内の団体も来る状況下でございますので、このQRコードを活用することで、連携している自治体の皆さんの情報をさらに多く掲載できるというようなメリットもあるかと思います。大変期待をしているところでございます。

その他ご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは次に移ります。

報告事項(3) ロゲットカード連携について(福井市)

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(3)「ロゲットカード連携について」、福井市の堀課長からご報告をお願いします。

福井市／堀課長

引き続き、ロゲットカード連携についてご報告いたします。

沿線の参加都市との連携事業による相互の交流人口の拡大を図るため、「戦国の城、安らぎの景色」を共通テーマとするロゲットカードの収集を目的とした観光客により周遊を促す連携事業の提案をいたしました。

令和5年度に連携4都市のみなかみ町様、さいたま市様、金沢市様、福井市がそれぞれ8種類のロゲットカードを制作し、10月13日から各市町の所定の施設等で一齐に配布を開始いたしました。8種類の合計発行枚数2万8,000枚に対して、配布開始から今年9月時点で、配布枚数は合計約1万6,000枚となっております。

次に、ロゲットカードについて改めてご説明をいたします。ロゲットカードは、全国の観光地を統一フォーマットでシリーズ化して紹介するコレクションカードでございます。

配布中のカードの内容は、みなかみ町様の「谷川岳ーノ倉沢」、さいたま市様の「さいたま市大宮盆栽美

術館」、金沢市様の「武家屋敷寺島蔵人邸」「長町武家屋敷跡界限」そして本市の「一乗谷城」「一乗谷朝倉氏庭園」「養浩館庭園」「越前海岸の水仙畑」の計 8 枚でございます。各カードの右下に東日本連携・創生フォーラムの共通ロゴが入っているのが特徴でございます。

最後に、今回、参加都市の連携事業として制作したロケットカードは、各市町のおすすめスポットを紹介するとともに、他の観光地へ周遊していただけるきっかけになると思っております。今後、この連携事業に御参加いただく自治体の皆様が増えることで、カード収集の魅力と周遊の効果がさらに高まると考えておりますので、是非、参加に向けたご検討いただきますようお願いをいたします。報告は以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件について何かご発言等ございましたらお願いしたいと思います。

本市も大宮盆栽美術館のカードを配布をしておりますけれども、9 月末時点で約 1,600 枚配布をさせていただきました。アンケートでは、カード収集を目的に来館されている方も一定数いるということが把握できました。今後も参加都市と連携して、このカード収集も目的の一つに周遊をさらに広げられればと思っております。最近ではダムカードをはじめ、様々な種類のカードコレクターがたくさんいらっしゃいますので、そういった層もターゲットにしながら、それぞれの魅力的な場所を訪問してもらうということになると思いますので、引き続き参加いただける自治体がありましたらご協力をお願いしたいと思っております。

報告事項(4) イベントを通じた連携について(さいたま市)

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(4)「イベントを通じた連携について」、さいたま市から報告をさせていただきます。

はじめに、e スポーツについてでございます。令和 4 年度に引き続き、昨年度も e スポーツイベントを実施いたしました。内容としましては、若年層に特に人気のある「フォートナイト」というゲームを使用しまして、12 月に東日本連携地域を 3 ブロックに分けまして、オンラインの予選会を実施いたしました。1 月には予選の各ブロック上位チームに加えまして、さいたま産学官連携チームと当日参加となるワイルドカードのチームを含め、まるまるひがしにほんにおきまして決勝大会を開催させていただきました。試合の合間には連携都市の観光動画を配信したり、会場 1 階には e スポーツを体験していただくブースなども設けさせていただきました。

また、市内の e スポーツ関連企業には、ゲームモニターやコントローラー等の展示、また東日本連携都市の上田市様にはみずすゐの配布や VR を活用した観光 PR を実施していただきました。この e スポーツイベントにつきましては、コロナ渦での観光施策として実施してきたものになりますので、今年度以降は Instagram 等の別の取組みを行っていきたいと考えております。

続きまして、マラソンイベントを通じた連携についてです。東日本連携観光部門のワーキンググループの取組みの一環として、マラソンなどスポーツイベントによる連携を進めております。昨年度はみなかみ町様での「サロモン藤原湖マラソン」、さいたま市での「さいたまマラソン」、福井市様での「ふくい桜マラソン EXPO」にブースを出展し、物産販売、マラソンイベントや観光の PR を実施させていただきました。「サロモン藤原湖マラソン」につきましては、男女でそれぞれ 1 位の方に「さいたまマラソン」への出走権を授与するなどの連携を行わせていただきました。「さいたまマラソン」につきましては、会場であるさいたまスーパーアリーナ内に東日本連携ブースを設けまして、ワーキンググループのメンバーであるみなかみ町様、福井市様に加えまして、仙台市様、福島市様、会津若松市様、小山市様、南魚沼市様にもご出展いただいたところです。また、ランナーへの給食として函館市様からパラチノース配合のくるみ餅である「エネモチ」、盛岡市様からは特産果実アロニアを使用したクッキー「アロニアムスビ」、みなかみ町様からは、戦国武将真田氏にちなんで作られた「真田栗むし饅頭」をご提供いただきました。今年度も 8 月 18 日にみなかみ町様の「藤原湖マラソン」にさいたま市ブースを出展させていただき、また、来年 3 月 16 日には「さいたまマラソン」が予定されておりますので、引き続き相互出展や給食等での連携を実施していきたいと考えております。説明は以上でございます。

本件について何かご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、盛岡市の藤谷課長、お願いいたします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございます。先ほどお話いただきましたとおり、さいたまマラソンということでございますが、令和 5 年度は栄養価のバランスが高いと言われます、盛岡特産のアロニアを使いましたクッキーを給食として提供させていただきました。また、令和 6 年度、次のマラソンでは盛岡りんごの方を給食として提供させていただきたい。それから、地元で人気の「ゴウちゃんのコロッケ屋」というものがございまして、こちらをブース出展させていただきたいということで報告をさせていただいております。引き続き、マラソンイベン

トを通じた連携ということを通じまして、相互に盛岡市、それから連携市町の PR ができればなと思ってございます。盛岡市としては引き続き参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。続きまして、みなかみ町の茂木副町長、お願いします。

みなかみ町／茂木副町長

群馬県みなかみ町でございます。まず、先ほども説明にもございましたが、藤原湖マラソンにはさいたま市さんにブースを出展いただきまして、好評を博したところでございます。まずもって御礼を申し上げたいと思います。この相互出展を通じまして、他の都市の魅力を直接伝えることができるということはもちろんですけれども、参加者相互の交流を深める良い機会になると考えております。お声がけをいただければ、みなかみ町としましては積極的に対応してまいりたいと思っております。こうした機会の拡充につきまして、相互に個別にオファーをすることがよいのか、もしくはこのフォーラムのフォーマットなどでデータベース化されていくのが良いのか、方法、手法、手段というのも様々あると思いますが、いずれにしても高い効果があるというふうに考えられますので、積極的に今後ともご協力をさせていただきたいと考えてございます。以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。アプローチの方法については、今後事務局を通じてご相談をさせていただければと思います。さいたまマラソン大会は去年出場者が約 1 万 2,000 人だったんですが、今年はさらに約 1 万 5,000 人が出場する予定でございまして、現在順調に申込者が増えているところでございます。これはさいたま市民だけじゃなくて、マラソン大会は全国からいろんなランナーがいらっしゃるの、マラソンランナーの方は走ることも目的なんですけど、それぞれの地域の美味しいものを食べたり、あるいは様々な経験をして帰られるというのがマラソンの一つの魅力になっているようでありますので、是非そういった機会も大いに活用していただければなと思っております。

報告事項(5) さいたま市と連携した伝統工芸品等の PR について（会津若松市）

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(5)「さいたま市と連携した伝統工芸品等の PR について」、会津若松市の白岩部長からご報告をお願いします。

会津若松市／白岩部長

それでは、本市からは、さいたま市様との連携した伝統工芸品等の PR の取組みを 2 点ご紹介、ご報告させていただきます。

まず 1 点目でございますが、今年 3 月にイオン浦和美園店で開催しました会津フェアの取組みでございます。こちらのイベントにつきましては、さいたま市様との連携で開発に至った会津産イチゴを使ったスイーツや浦和レッズ様の公認商品として開発した赤べこを販売させていただきました。

2 点目として、さいたま新都心のけやき広場で「会津ブランドものづくりフェア in さいたま」を開催いたしました。会津地域の工芸品や特産品の販売、ワークショップなどを実施いたしました。その際でございますが、さいたま市様に会場付近の小学校への周知広報にご尽力をいただきました。おかげさまで、家族連れの皆様で大変賑わったところでございます。大変ありがとうございました。今後も構成自治体の皆様と連携させていただき、伝統工芸品等のプロモーションを行っていければと思っております。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件について何かご発言等がございましたらと思いますが、いかがでしょうか。

さいたま市にも 135 万人のマーケットがございますし、また、大宮駅周辺は近隣からもたくさんの方々にお越しいただきます。是非私たちも様々な取組みにできるだけ協力をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、会津若松市様におかれましては、さいたま市内の飲食店と連携した取組みを数多く行っていただいております。これはどういうものかという、「まるまるひがしにほんの店」という制度に登録していただいて、さいたま市内の飲食店を対象としたビジネスマッチングの商談会もやらせていただいております。そして、積極的にそれぞれの地域のおいしいものをこの大宮駅周辺でも提供していただいているような取組みもやっております。まるまるひがしにほんの活用だけではなくて、「まるまるひがしにほんの店」も活用して、マーケティングあるいはプロモーションは十分可能かと思いま

すのでぜひご活用いただければと思います。

報告事項(6) まるまるひがしにほんの活用実績について（さいたま市）

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(6)「まるまるのひがしにほんの活用実績について」、さいたま市から報告いたします。

まるまるひがしにほんの利用実績でございますが、まず令和 5 年度の年間来場者数は約 106 万人ということになりました。本日出席の連携都市をはじめ、多くの自治体の皆様にご活用いただきまして、また、徐々に施設の認知度も高まりまして、年間来館者数は開館以来初めて 100 万人を突破したということになります。また、1 日当たりの平均来館者数も過去最高となっております。今年度につきましては、みなかみ町様、函館市様、福島市様、長野市様、小樽市様にご利用いただき、今後、岩手町様、福井市様、上田市様にもご利用いただく予定でございます。ありがとうございます。現在の施設の予約状況については、年度内の週末は徐々に埋まってきておりますので、冬や来年の春に向けたシティプロモーションを検討されている場合には、ぜひお早めにご相談いただければと思っております。

続きまして、さいたま市が昨年行ったイベントについてご紹介をしたいと思います。本市では、ALPS 処理水放出に伴います水産物への風評被害対策として、令和 5 年 11 月に「食べて応援！さいたまホタテ祭り」をまるまるひがしにほんが面しております大宮銀座通りにおいて開催いたしました。当日は、多くの市民の方々に北海道産及び三陸産のホタテを食していただきました。また、大宮東口商店街連絡協議会様には焼き芋の販売、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社様にはホタテグラタンのキッチンカーでの販売、また JR 東日本大宮支社様には大宮駅構内での周知にご協力をいただくなど、民間の団体や企業を巻き込んでのイベントとなり、大変盛況でございました。私もこれ食べようと思っていたのですが、あまりにたくさん人数が並んでいたもので、食べずに帰ってまいりました。

まるまるひがしにほんではこれまでも災害に遭われました。地域の復興支援企画を何度も行ってまいりました。本市では、本年 1 月に起きた能登半島地震において大きな被害を受けました石川県七尾市に職員を派遣し、復興支援にあたっております。今度は産業支援ということで、来月の 11 月 14 日から 17 日の 4 日間で復興支援イベントを開催する予定でございます。

最後に、昨年度のフォーラムで議題として取り上げました「東日本の商材販路拡大」の取組でございます。本事業の中心となっておりますのが、令和 4 年度から開催しております「東日本の食材商談会」で、令和 5 年度は 6 回開催いたしました。昨年度は会津若松市様と福島市様にこの場をご活用いただきました。ありがとうございます。今年度も 9 月、10 月、11 月、1 月、2 月の計 5 回開催をする予定でございます。今年度は初めての取組みとして、3 月には日本酒に特化した商談会を開催したいと考えております。各都市の特産物のマッチング、販路拡大の機会として、この商談会の場の活用をぜひご検討いただきたいと思います。報告は以上でございます。

本件につきましてご発言等ございましたら挙手をお願いします。それでは、長野市の川上部長、お願いします。

長野市／川上部長

長野市でございます。長野市では、今月 11 日から 14 日までの 4 日間、「まるごと長野市」と題しましてイベントを開催をさせていただきました。初めて利用させていただいたわけでございますが、事前の準備から販売、撤収に至るまで、まるまるひがしにほんのスタッフの皆様にご厚いご支援を賜りまして、本市のスタッフも安心してイベントに臨むことができました。関係者の皆様には改めて御礼を申し上げます。

当日は、採れたてのリンゴや野沢菜、蕎麦、日本酒など、本市ならではの特産品の販売・PR を行ったわけですが、3 連休と重なったこともございまして、連日大勢の方々にご来場いただき、本市の魅力を感じていただけたのかなと思っております。特産品など販売・PR につきましては、事業者を対象とした販路拡大の支援が大変重要な取組みの一つでございますので、先ほどお話にございました食材商談会の活用につきましても、今後検討させていただければと思っております。ありがとうございました。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。続きまして、岩手町の佐々木町長、お願いします。

岩手町／佐々木町長

岩手町の佐々木です。先程紹介のところでちょっと 2 つだけ漏れたことがございます。岩手町がなぜここさいたま市大宮にいるかというと、実は岩手町には新幹線の駅がございます。人口 1 万 1,000 人の農業の町に新幹線の「いわて沼宮内駅」がございます。そして岩手町は東北一のキャベツ産地でもございます。2 年

前にこのまるまるひがしにほんで岩手町の岩手町マルシェというイベントを開催させていただきました。本当に多くの方にご利用いただきまして、今年は先ほども申し上げましたこのチラシ、皆様のお手元に配られておりますが、第2回目となる岩手町マルシェを開催いたします。明後日11月1日から4日まで、この連休の間の開催でございます。岩手町からいろんな野菜、そして加工品様々、リンゴなんかも今旬でございます。たくさん持って皆さんにぜひご賞味をいただきたいなと思っております。皆様のご来店をお待ち申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。そのほか何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

報告事項(7)「つなぐ旅～東日本～ひがしにほんトラベルガイド」について（さいたま市）

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(7)「つなぐ旅～東日本～ひがしにほんトラベルガイド」について、さいたま市から報告いたします。

令和3年度からの継続事業である観光ウェブサイト「つなぐ旅～東日本～ひがしにほんトラベルガイド」の基本情報については記載のとおりです。令和5年度のウェブサイトのページビュー数については17.5万回でございました。公式のフォロワー数は3.4万人おります。SNSを通じて、幅広く情報発信をしております。YouTubeにつきましては、令和5年度に3回配信をしまして、各回4万回以上再生されており、中には12万回以上再生されている回もございます。今年度は7月に「お祭り」や「花火大会」をテーマに、八戸市様、山形市様、福島市様、郡山市様にご出演をいただきまして、4.7万回以上の再生数を記録しております。次回の配信は11月26日を予定しており、盛岡市様、氷見市様、南魚沼市様にご出演をいただきます。連携都市の皆様におかれましては、良いPRの機会となりますので、今後もぜひご出演をいただければと思います。また、初の取組みとしては、埼玉県出身であります元AKB48で女優の島崎遥香様にこちらのサイトのPRをしていただきました。今後も有名人やインフルエンサー等を活用したPRを検討してまいりたいと考えております。報告は以上となります。

本件についてご発言等ございましたら挙手をお願いします。それでは、盛岡市の藤谷課長、お願いします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございます。この「つなぐ旅～東日本～ひがしにほんトラベルガイド」についてですが、これまで令和4年、令和5年と2回ほど利用させていただいております。昨年はミスさんさが出演しまして、盛岡さんさ踊り、盛岡の夏祭りのPR、それからこれも地元で人気の「福田パン」の実食をさせていただいたということでございます。今年11月には先ほどお話しいたきましたとおり、今度は冬季の観光客の誘客を目的としまして、市中心部の「もりおかイルミネーションブライト」、それから本州で一番寒い都市が盛岡市でございまして、その寒さを体感していただくイベント「氷の世界2025」をPRさせていただく予定でございます。

それから、当日はリンゴを使いましたスイーツの実食を予定しているところでございます。引き続き、盛岡市のPR、魅力の発信の場として、引き続き活用させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。その他何かございますでしょうか。それでは次に移ります。

「5. 情報共有」

情報共有(1)「佐渡島の金山」世界文化遺産登録及びラーメンプロモーションについて（新潟市）

さいたま市／清水市長

続きましては、次第5「情報共有」でございます。こちらは連携事業以外で、本日ご出席の皆様にご広く周知をしたいイベントや取組みを発信させていただく場となっております。

はじめに、情報共有(1)『「佐渡島の金山」世界文化遺産登録及びラーメンプロモーションについて』、新潟市の関川部長よりご説明をお願いします。

新潟市／関川部長

新潟市でございます。少々お時間を頂戴いたします。本市からは、先程申し上げましたとおり、新潟佐渡の金山世界文化遺産登録と合わせまして、ラーメンをフックにしたプロモーション事業についてご紹介をさせていただきます。

本年 7 月に「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されました。本市と佐渡市は 2022 年 6 月に観光交流連携を締結しておりまして、両市をお得に回れる特典の提供や世界遺産登録をお祝いする朝食など、両市の周遊促進事業を行っているほか、佐渡へ旅行する際に新潟市に前泊または後泊した方に 5,000 円分の商品券をプレゼントする宿泊プラン「新潟泊 さど旅得プラン」を各ホテルで現在販売をしております。こちら今年度いっぱい実施をしておりますので、佐渡へお越しの際、また本市にお越しの際は佐渡にも足を延ばしていただいて、ぜひご利用いただければと思います。

続いて、本市は、今回リモートで参加しております山形市様に続いて、総務省の家計調査でラーメンの消費量が第 2 位でございます。ラーメンのまちでもございまして、今年度からラーメンに特化した観光プロモーション事業を実施しております。新潟市にお立ち寄りの際、どうしてもお米とか魚とかそういうイメージがございしますが、ぜひラーメンも召し上がっていただいて新潟のラーメンの美味しさを実感していただければと思います。私からの情報共有は以上です。ありがとうございました。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。本件につきまして、何かご発言等ございましたら挙手をお願いします。それでは会津若松市の白岩部長、お願いします。

会津若松市／白岩部長

会津若松市です。本市も新潟市様、佐渡市様と国内外からの観光誘客を目指して、広域観光の取組みと一緒に進めているところでございます。新潟市様とは、今年 3 月に広域観光推進協議会を新たに設立しまして、その中で両市の特性であります醸造発酵文化に関するコンテンツを活用した広域観光ルートに取り組んでございます。

また、佐渡市様とは、両市の特産品であります日本酒を佐渡市の海底や金山の中で熟成させることによって付加価値を高め、富裕層等を誘客するための商品づくりなどに取り組んでいるところでございます。引き続き 3 市としっかり連携しまして、さらなる観光誘客につなげてまいりたいと考えてございます。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。新潟市は佐渡への玄関口でございますので、これから両市でさらに人の往来が活発になるのではないかと思います。私もラーメン好きでございますので、ぜひこのラーメンガイドを片手にラーメンを食べに行きたいなと思っております。

また、会津若松市様との産地での連携というのも非常に面白い取組みだと思いますし、東日本のそれぞれの地域、自治体同士が連携をして、様々な取組みが始まってくるというのも、私たちが目指しております東日本連携・創生フォーラムの大きなポイントだと思っておりますので、是非またそれぞれの都市同士での交流が始まっていただければ嬉しいなと思います。

情報共有(2)「氷見応援割キャンペーン」について（氷見市）

さいたま市／清水市長

続きまして、情報共有(2)「氷見応援割キャンペーン」について、氷見市の釜田部長よりご説明をお願いします。

氷見市／釜田部長

氷見市でございます。少しお時間をいただきたいと思います。冒頭にも少しお話をいたしましたけれども、今年 1 月の能登半島地震におきまして、能登半島の付け根、氷見市は石川県との県境になりますので、地震の被害を受けております。ただ、現在は元気で氷見の方も活動しておりますので、少しずつ復興しております。ただ、残念ながら能登半島地震の影響を受けたことで、能登の方はなかなかまだ観光が復旧していないようなことがあります。今までは能登の方の行き帰りといいますか、能登を周遊した観光客の皆様が氷見にも来ていただいていたわけでありまして、なかなかこのようなことができなくなっているというのが現状でございます。

そこで、氷見市といたしましては、宿泊客の方にまた戻ってきていただくというようなことを願いまして、「氷見応援割キャンペーン」というものを氷見市独自で行うこととしております。具体的には楽天トラベルでございまして、インターネットを利用した楽天トラベルのみで、今回はございますけれども、そういう応援割をするということでありまして。内容的には真ん中の方に少しありますが、1 番目といたしましては、3 人以上 2 万円以上のご利用で 1 万円の割引、2 番目といたしましては、2 人以上 1 万円以上のご利用で 5,000 円割引、3 番目といたしましては、6,000 円以上のご利用で 3,000 円の割引ということになります。氷見市内の

民宿、旅館、宿泊施設などにお泊りいただいた場合には、このようなことの割引をさせていただきたいと思っています。下の方にありますが、宿泊対象期間としましては、令和 6 年 12 月 2 日から令和 7 年 2 月 28 日まででございます。予約受付日としましては、令和 6 年 11 月 25 日から令和 7 年 2 月 21 日。少し訂正でございます。土曜日となっておりますが、金曜日でございますので、よろしくお願いいたします。

氷見の方は能登半島の付け根ということでご存じの方もおられるかと思いますが、富山湾の氷見寒ブリというものが皆さんに喜んでいただいているものでございます。寒ブリの時期ではありますが、なかなかブリもとれるかどうか心配しているところもありますが、この機会にぜひ氷見に来ていただき、氷見の方は、ブリもそうでございますけれども、寒暖差の激しいところでもありますので、おいしいお米がとれます。また、氷見牛というお肉、そういうものもありますので、いろいろなものを食べていただいて、そして温泉にも入っていただいて、また氷見にも来ていただく。初めての方であれば、ぜひこの機会にご利用いただけたらと思いますので、関連の皆様にも案内いただければ大変助かると思っております。

ぜひご案内の方、よろしくお願いいたします。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。これについて何かご発言等ございましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

氷見市様も先の能登半島地震で被害を受けた地域の一つでございます。このキャンペーンに限らず、ぜひ各都市の皆様とも連携しながら、何らかの形で被災されました地域を支えていく取組みができればと考えております。特に私も氷見市には何度かお邪魔をさせていただきまして、おいしい寒ブリを食べさせていただいたり、あるいは氷見市から新幹線の中で抱えて持ってきていただき、いただいたこともございます。また、大宮の商店街の皆さんとの交流も進めていただいております。私たちも様々な形で応援させていただければと思います。

それでは、その他何かございましたらよろしいですか。那須塩原市の渡辺市長、よろしくお願いいたします。

那須塩原市／渡辺市長

3 回目は普通にやります。うちはちょっと直近なんですけど、イベントを那須塩原駅前です、今度土曜日にやろうと思ってまして、これはただのイベントじゃなくて道路を封鎖して大々的にやろうと思ってます。那須塩原駅というのはよく天皇陛下が御用邸にいらっしゃるときに降りられるんですけど、大通りがあるんですけど、あんまり那須ってところ、那須高原のイメージが多分皆さんあると思うんですけど、あんまり駅前ではなくて、ちょっと車で 3、40 分ぐらい離れたところにあるんですけども、そうじゃなくて、やっぱり新幹線を降りた瞬間に那須高原とか那須塩原らしさを体現したいと思ってまして、今までも駅前広場でちょっとやっていたんですけど、そうじゃなくて道路を全部ホコ天にしちゃって、丸々ちょっと潰しちゃって、そういうイベントを今後、直近だと今度土曜日なんですけども、今後いろいろやっていきたい。なので、この間もちょっと那須塩原駅の前でチーズのちょっとお祭りやったんですけど、やっぱり新幹線駅の目の前で大きなイベントをやると、かなり県外からも来ていただけるのがわかったので、今後皆様とも連携できればなと思っています。すみません。お時間いただいて。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。先ほどご紹介ありました乳製品、特にチーズとか、そういったものの日本でも有数の産地ということですので、またぜひ皆さんお越しをいただきたいと思います。

それぞれの地域で、特に 10 月、11 月は様々なイベントがあると思います。本市も 11 月 2 日に「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の 10 回目になる記念大会がございます。ちょっと天気が心配でございますけれども、自転車ファンの方が多くいらっしゃると思いますので、是非ご覧いただければと思っております。

それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

「6. 総評～7. 閉会」

さいたま市／清水市長

長時間にわたりまして、誠にありがとうございます。本日の 3 つの議題、議題(1)『「つなぐ旅～東日本～」Instagram について』は、『東日本地域の周遊促進のため、共同 Instagram アカウント「つなぐ旅～東日本～」を活用し、令和 7 年春頃に「桜をテーマとしたフォトコンテスト」を開催することとする』という方針で事業を進めていくことについて、議題(2)「新幹線荷物輸送サービスを活用したシティプロモーションについて」は、「鉄道事業者と連携しながら、新幹線荷物輸送サービスを活用した特産品を PR・販売するシティプロモーションイベントを令和 7 年秋頃に大宮駅構内で開催することとする」という方針で事業を進めていく

こと」について、議題(3)「東日本連携・創生フォーラム 10 周年記念事業について」は、『平成 27 年の「東日本連携・創生フォーラム宣言」から 10 周年を迎えることを記念して、令和 7 年春頃にまるまるひがしにほんにおいて、東日本の各都市が特産品や観光の PR を行う「(仮称)東日本マルシェ」を開催することとする』という方針で事業を進めていくことについて、それぞれ賛同をいただきました。

今後は、これらの方針に基づきまして、皆様と連携事業を実施していければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。既に参加表明をしていただいている自治体もありますし、また、これから検討していただくという自治体もあるかと思いますが、ぜひ前向きにご参加をいただければと思います。

最後に、全体を通じて、ご意見やご質問がございましたら挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。それではないようでございますので、皆様には円滑な議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

先ほどの新たな取り組みや報告事項などでも、着実にこの東日本連携の様々な事業が前に進んでいるというふうに実感しております。現在 30 自治体に参加いただいておりますが、さいたま市も含めた連携、あるいはさいたま市は入らなくてもそれぞれの都市で様々な形で連携をしていただいて、広域的な連携であったり、あるいは近場での連携であったり、そういった連携を深めていただき、それぞれがプラスに地域発展できるようになればと願っているところでございますので、これからもどうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

(終了)